

| | | | | | |
|-------|-------------|------------|------------|------|-----|
| 科目名 | コマース研究ゼミナール | 科目コード | 1212 | 単位数 | 2 |
| 担当者名 | 田村 亨 | 開講semester | 第7semester | 開講年次 | 4年次 |
| 授業の方法 | 演習 | 実務経験 | 無 | | |

● 授業のねらい

企業と消費者は、市場という時空間の中で様々な流通活動を行っている。その中の商業空間を構成する要素は、土地、自然資源、社会資本、制度資本の4つとされ、その魅力がグローバルに動き回る人・モノ・情報・お金を引き付ける。ゼミナールでは、商業空間の拠点整備プロジェクトを対象にプロジェクト評価の手法を習得することにより、自らの課題を発見し解決する能力を身につける。

● 到達目標

- ・費用便益分析の理論を学び、用語を的確に使えるようになる
- ・事例をとおして、費用便益分析の基礎を習得し、使えるようになる
- ・「環境の価値」を計測する方法について習得し、使えるようになる
- ・以上をとおして、習得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決することができるようになる

● 授業内容

- 1週目 プロジェクト評価とは
- 2週目 社会資本の定義
- 3週目 開発と効果
- 4週目 「幸せ」は測れるか
- 5週目 費用便益分析
- 6週目 費用とは
- 7週目 効果と便益
- 8週目 効果の分類
- 9週目 需要と供給の調整
- 10週目 消費者余剰
- 11週目 仮想的市場分析
- 12週目 事例研究：費用
- 13週目 事例研究：効果
- 14週目 プレゼンテーション：費用
- 15週目 プレゼンテーション：効果
- 16週目 プロジェクト評価の将来

● 準備学習(予習・復習)等の内容

ゼミナールは、「講義」と「ケ-ス・ディスカッション」から構成され、与えられた課題について討論するため予習が必要となる。(予習)講義の中で次回講義のキーワードを示すので、インターネットを用いて調べてくる。(復習)広義の理解が不十分な箇所を明確にして、次回講義で質問できるように準備をする。30分以上の予習・復習を行うこと。

● 成績評価の方法・基準

事例分析した結果をプレゼンテーションすることにより評価する

● 履修上の留意点

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる

● 課題に対するフィードバックの方法

毎回、講義の中で質問を行い、学生の回答に対する評価を講義の最後に行う

● テキスト

ゼミナール時に資料を配布する

● 参考書

石原武政『タウンマネジャー-』(学芸出版)、2013年、2200円

● 更新日付

2020/03/04 09:41